

令和7年1月
第68号

発行
前田連合町内会広報部

前田連町世帯数
(令和7年1月1日現在)
16町内会
世帯数 5,192世帯

まえだ

新年のご挨拶



会長 山岸 裕

前田連合町内会の皆様、謹んで新年の
お喜びを申し上げます。

令和六年も、連町の最大のイベントで
あります「第二十六回前田ふれあいまつり」を皆様のお陰で、
盛大に無事故で開催することが出来ました。そして各行事、活
動も多大なるご協力ご理解を頂き、滞りなく進めさせて頂きま
した。心から感謝申し上げます。

なお現在は一年で最も厳しい季節を迎えております。各町内
会におかれましては、日常の除雪、そして年一回のパートナ
シップ等による排雪作業が行われます。どうぞ絶対無事故でス
ムーズに実施されますようお祈りいたします。

令和七年も皆さまのお力を頂き、各行事・活動を通じて、暖
かい絆を深めてまいりたいと念願しております。又多発・甚大
化する自然災害に備える取り組みを進めたいと思いま
す。どうぞよろしくお願い致します。結びに本年が皆様にとつ
て、良いお年でありませう、又「一家の皆様の益々のご健勝、
ご多幸をお祈りし新年の挨拶とさせて頂きます。

特集 災害は必ずやってくる

緊急災害時の対策と心構え

副会長(防災担当) 波部 孝次

一 はじめに

近年、規模の大きい地震や気候
変動の影響とみられる大型台風・
集中豪雨などにより甚大な災害が
各地で発生しています。前田地区

にあっても平成三十年の胆振東部
地震では全電源が消失し日常生活
の全てに亘って不便を強いられる
という経験をしました。

今回は、前田地区における緊急
災害時の対策や各町内会の自主防
災組織等の活動を再点検すると
もに、前田連合町内会として災害
時における共通の心構えについて

考えてみたいと思います。

二 自主防災活動の点検と強化

(一) 阪神・淡路大震災の教訓

私たちは、平成七年一月十七日
未明に発生した阪神・淡路大震災
から多くのことを学びました。特
に、住民同士の協力による自主的
な防災活動で多くの命が助かった
ことを教訓に「自分たちの地域は
自分たちで守る」という気運が全
國的に広まりました。

確かに災害発生直後は道路の寸
断や火災の発生、建物の倒壊など
様々な要因が重なり救命救助がで
きません。その間に動けるのが被
害が比較的軽度の人達でした。自
分の家族が瓦礫の下敷きになり一
刻の猶予も許されない状況下、隣
近所の人達による懸命な救助活動
で助けられたという事例が多く報
じられました。

(二) 自主防災組織の必要性

阪神・淡路大震災以降、札幌市
では町内会等への自主防災組織の
立ち上げを奨励し、市内全域で組
織が結成されました。平成九年度
から札幌市は消火・救出・救護活
動に必要な資機材のうち基本的な
ものをセットにして防災活動組織
を整備した町内会に助成を行いま
した。前田

連町内の殆
どの町内会
にも配備さ
れています
ので防災訓
練などを行
う際は資機
材の点検と
使用方法の



確認をお願いします。

(三) 形骸化する自主防災組織

近年、自主防災活動の形骸化が
進み、実際に災害が発生した時の
実効性が疑問視されています。自
主防災組織を作りはしたが、担当
者の交代や防災訓練の休止など、
特にコロナ禍以降はこの傾向が顕
著と言われています。今一度各町
内会において運営組織等の点検や
見直しを行ったり、防災訓練を实
施する際は手稲区の総務企画課や
消防署予防課に相談してくださ
い。

三 避難所の運営について

(一) 能登半島大地震では

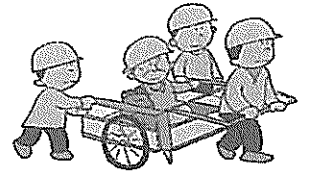
石川県の能登半島地区は大地震
と大雨による洪水の発生で壊滅的
な被害となっています。昨年元日
に発生した地震による火災と津波
で家屋を喪失した人達が避難所に
集中し混乱する様子が伝えられま
した。さらに九月には大雨による
河川の氾濫、洪水で甚大な被害を
受け多くの方が亡くなりました。
(二) 災害を想定した日頃の心構え
前田地区でこの様な災害が発生
したと想定してみましよう！

【例一】地震

《想定》二月某日午前六時三十分、
マグニチュード7の地震発生。
電源消失、道路は電柱倒壊有り、
水道は通常通り、建物の倒壊有
り。

1 初期対応(自宅待機が可能 の様子も)

1 家族全員の無事を確認(近所
の様子も)
2 厳冬期であり、まず暖房設備
とガスコンロ、携帯ラジオ用意
(必需品として備蓄)



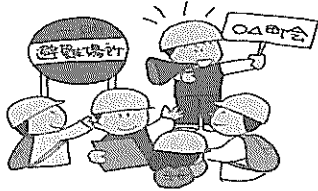
- 現状など情報収集、交通機関・学校等
 - 3 食事などは小型ガスコンロで
 - 4 断水を想定して水を備蓄
 - 自宅周辺の確認、近所の被害状況確認—
 - 5 避難所への避難を判断（自宅待機有り）
- 〔例Ⅱ〕洪水
- 《想定》八月某日、前日から手稲地区に四百ミリの雨が降り、軽川、中の川の一部で氾濫、新川も危険水域を超えている。
- 1 初期対応、自宅待機が不可能
 - 気象庁等からの台風情報を把握する—
 - 2 当該地域の災害リスクを知る
 - 3 水害から身を守る知識や心構え（気象庁と市町村が発表する警戒レベル1〜5をチェック）
 - 4 現在地の状況を把握する（広域避難場所＝学校、体育館等）
 - 5 水害の心配がなくなり、家に被害があるか確認する
 - 被害があり生活できない場合
 - 6 指定緊急避難場所へ避難
- ※指定緊急避難場所及び自主防
- 災体制一覧（4ページに掲載）
- （三）避難所の運営管理は誰が
- 避難所の運営管理は、地震と風水害の場合では全く異なります。地震の場合は過去の事例からみて発生直後は避難所の開設から運営まで地域住民（町内会等）が担う

ことを念頭に置いた対策が必要になります。こうした状況を考えると、自主防災組織による日頃の避難訓練等が重要となります。風水害の場合は避難に至るまでにやや時間的な余裕があるので、避難所の開設、運営は行政等の支援が見込まれます。

四 おわりに（フェーズフリー）

最近の災害対策においてフェーズフリーという言葉が良く使われます。これは平常時と災害時という社会のフェーズ（時期、状態）を取り払い普段利用する商品やサービスが災害時にも適切に使えるようにすることを表す言葉です。例えば防災リュックは災害時には水の運搬や保存の用具として、また防災LED電気は災害時に停電しても灯りを絶やさない等々、普段の生活で使っているものが災害時でも使えるというフェーズフリー的な考え方が官民共通に取り入れられています。このような観点を踏まえ、平常時にこそ災害時を想定した対策と心構えを継続して点検、確認することが求められています。

最近の災害報道に触れるたびに、「天災は忘れたころにやってくる」、「備えあれば憂いなし」という先人の警句が胸に響きます。



八月以降の動き

- 八月三日（土）第二十六回前田ふれあいまつり
- 八月三十日（金）北海道町内会連合会主催「町内会活動実践研修会」



前田ふれあいまつり

- 九月十一日（水）前田連町四役会
- 九月十八日（水）前田連町第四回定例会事会
- 九月二十一日（土）〜三十日（月）秋の交通安全運動 二十日（金）セーフティコール
- 十月九日（水）前田連町四役会
- 十月九日（水）手稲区防災訓練（鉄北小学校体育館）
- 十月十日（木）福まち主催「いきいきお食事交流会」（前田中央会館）
- 十月十六日（水）前田連町第五回定例会事会
- 十月十七日（木）クリーンさつぽろ衛生推進員施設見学会
- 十月十八日（金）北海道町内会

- 連合会主催「町内会活動研究大会」（オンライン視聴）
- 十一月九日（土）手稲区防火委員研修会（区民ホール）
- 十一月十三日（水）前田連町四役会
- 十一月十三日（水）〜二十二日（金）冬の交通安全運動 十三日（水）セーフティコール
- 十一月十九日（火）北地区除雪連絡協議会（区民ホール）
- 十一月二十日（水）前田連町第六回定例会事会
- 十一月二十九日（金）区連協第三回協議会
- 十二月六日（金）手稲区災害時支え合い研修会（区民ホール）
- 十二月九日（月）前田会館役員会
- 十二月十一日（水）前田連町四役会
- 十二月十三日（金）前田連町除雪会議



前田連町除雪会議

- 十二月十八日（水）前田連町第七回定例会事会
- 十二月二十八日（土）前田会館大掃除
- 十二月二十九日（日）〜一月五日（日）前田会館休館

- 令和七年一月七日（火）手稲区新年交礼会（ベルコシティホール）
- 一月九日（木）前田連町新年交礼会（前田会館）
- 一月十二日（日）手稲区成人の日行事（区体育館）
- 一月三十一日（金）前田連町広報紙「まえた第六十八号」発行

令和6年度
連町各部
の動き

環境衛生部

- ◎活動報告・今後の計画
- 健康づくり事業ヨガ 七月二十四日（水）前田会館大広間 参加者 十六名
- 環境衛生部長会議 七月三十日（火）前田会館大広間 参加者 十七名
- ノルディックウォーキング 九月七日（土）前田森林公園 参加者 十三名
- 親睦パークゴルフ大会 九月二十八日（土）前田森林公園 参加者 五十名
- 衛生推進員施設見学会 十月十七日（木）中沼資源選別センター

交通安全部

◎通学路に横断歩道と信号機が新設

○衛生推進員懇談会
令和七年二月二十一日(金)
前田会館大広間
出席者 衛生推進員



笑和歌声体操

白石清掃工場
前田連合町内会参加者 五名
○笑和歌声体操
十月二十三日(水)
前田会館大広間
参加者 十四名



親睦パークゴルフ大会

○防火防災研修会とふれあい音楽会の開催
十月十二日(土) 九時三十分から前田連合町内会が主催する「防火防災研修会とふれあい音楽会」を、市民ホールで開催しました。一部は、映像による能登半島地方の地震と洪水による被災の様子

防火防災・防災部



十月三十一日(木) 十時から、前田小学校とウイズランド手稲前田町内会を隔てる稲山通り(学園通り)に、横断歩道と信号機が新設されました。参加した手稲警察署長、前田小学校校長、山岸会長、道・市議会議員、ウイズランド手稲前田町内会山田会長ほか役員の方々が見守る中、小学校に通う生徒達による「渡り初め式」が行われました。
約四百m遠回りしていた朝夕の通学路が短縮され、ご両親の心配の種がひとつ解消されました。

○胃・大腸・肺がん検診
今回より福祉部の役員が対応して受付協力を行いました。
○実施会場と検診日
・前田中央会館：八月九日(金)
・前田中央会館：八月十日(土)
・前田会館：……八月十八日(日)
一四五名の方々が受診されました。

福祉部



防火・防災研修会とふれあい音楽会

など、岩立市民部長から手稲区の防災についてのお話と、手稲消防署予防課大屋係長による「身近な防火・防災」についての講演がありました。
二部は、前田連合町内会と手稲高校代表による防火宣言があり、恒例となっております手稲高校吹奏楽部とのふれあい音楽会が開催されました。総勢四十八名による演奏は、市民ホールに鳴り響き参加された約百五十名の皆さんから大きな拍手とアンコールがありました。



前田まちのお宝写真コンテスト

◎がらがわ魚放流(七月二十八日(日))
「軽川と桜並木を育てる会」の主催でヤマメなどの稚魚の放流が大勢の子供たちの参加で実施されました。
◎北海道マラソン給水ボランティア(八月二十五日(日))
恒例となりました給水ボランティアに九十三名の方々に協力いただきました。暑い中お疲れ様でした。

青少年部

た。
◎福祉のまち推進センター行事への協力
○いきいきお食事交流会(十月十日(木))
前田中央会館において、ひとり暮らしされているお年寄りの方々など七十二名が参加されました。
◎今後の活動
福まち研修会(令和七年二月予定)が計画されています。

◎活動報告
八月一日(木) 手稲区女性部長会議
八月二十六日(月) 手稲区文化祭実行委員会
九月十七日(火) 手稲区文化祭実行委員会
九月十八日(水) 手稲区女性部長会議
九月二十日(金) 交通安全母の会セーフティコール
九月二十七日(金) 前田女性部定例会
九月三十日(月) 手稲・小樽・石狩三市合同街頭啓発(サンビレッジいしかり)
十月六日(日) 手稲文化祭
十月二十二日(火) 手稲区母の会連絡協研修会(区民センター)
十一月一日(金) 女性部見学研修会(札幌市防災センター)
十一月七日(木) 手稲区女性部長研修会(小樽市)
十一月十三日(水) 交通安全母の会セーフティコール
十一月十四日(木) 母の会街頭啓発(手稲駅北口)

◎前田まちのお宝写真コンテスト(十二月三日(火))
小学生対象の前田まちのお宝写真コンテストが例年通り期限を十月末とし行われました。百六名の応募があり厳選な審査を経て、最優秀賞はじめ二十点の入賞作品が選ばれました。

女性部

特集 災害は必ずやってくる 各単町の避難先を確認しておきましょう。

前田連合町内会・単町の指定緊急避難場所及び自主防災体制一覧 令和 6 年 11 月現在

町内会名	避難場所・自主防災体制		指定緊急避難場所（最寄り）の避難所		自主防災組織 有無	防災資機材 有無
			地震時	洪水時		
前田東		[手稲高校]	[手稲高校]		有、防災訓練年 2 回	有
前田ゆたか		前田中央小学校	前田中央小学校		有	有
前田ゆたか東		前田中央小学校	前田中学校		現在休止	有
前田わらび北		前田中学校	前田中学校		有、防災訓練 2 回	有
三晃		前田中央小学校	前田中央小学校		有、防災訓練年 1 回	有
南平台		前田小学校	前田小学校		有	有
前田西第二		鉄北小学校	鉄北小学校		無	有 (古い)
シーアイ		鉄北小学校・前田小学校	鉄北小学校・前田小学校		有	有
前田西第一		鉄北小学校	鉄北小学校		有	有
ほまれ		鉄北小学校・[手稲区民センター]	鉄北小学校・[手稲区民センター]		無	無
前田第一		鉄北小学校・[手稲区民センター]	鉄北小学校・[手稲区民センター]		無	無
がらがわ		稲積小学校、鉄北小学校	稲積小学校、鉄北小学校		無	有 (古い)
四季彩の街・チエニュータウン		前田北中学校・北海道科学大学	前田北中学校・北海道科学大学		有、防災訓練年 2 回	有
ラピスガーデン手稲		鉄北小学校・[手稲区民センター]	鉄北小学校・[手稲区民センター]		有、防災訓練年 1 回	有
前田なないろ		鉄北小学校・[手稲区民センター]	鉄北小学校・[手稲区民センター]		有、防災訓練年 1 回	有
ウイブランド手稲前田		前田小学校	前田小学校		無、防災訓練申請検討中	無

◎各町内会の避難場所は最寄りの避難所を例示した。(札幌市はエリア内の避難所利用は特定していない)
 ◎緊急避難時は原則として、指定緊急避難場所へ避難して下さい。【 】内は、避難者が一時的に滞在する施設です。(備蓄品なし)



雑報

◎前田福祉のまち推進センターが札幌市民憲章推進団体として表彰されました
 令和六年度札幌市民憲章実践者として四個人、九団体が表彰され団体部門で前田地区福祉のまち推進センターが受賞しました。
 十一月二十九日札幌市役所で表彰式があり、同センターの手倉森洋子事務局長に感謝状と表彰盾が贈られました。

同センターは永年にわたり、高齢者を対象とした見守り活動や、「ごまいよサロン」を実施。又毎年「日帰り温泉旅行」「お食事交流会」を続け、高齢者の健康維持・増進へ生きがいづくりに貢献されています。

福島後記

福島半島沖地震の発生から約一年、見ごとの後、同じ地域を豪雨が襲いました。無残に打ち壊された状況は、おととし、被災地の復興はまだまだ見えぬ状況ですが、人々の記憶からはたんだん薄れていっています。六十八歳は災害体験として経験してみたい。『西の島』という本が、この地震の経験が、誰かが再び被災することを防ぐために役立つことを願っています。(木井)